

株式会社三三菱UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

「MUFG Retirement Guide」発行および「MUFG シニアライフ研究所」新設について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下 三菱UFJ銀行）、三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 犬田 博、以下 三菱UFJ信託銀行）および三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 小林 真、以下 三菱UFJモルガン・スタンレー証券）は、リタイア世代の豊かで充実したセカンドライフの実現に向けて、リタイア後に起こり得るイベントの全体像を可視化し、各フェーズで検討・対応すべき事項を体系的にまとめたリタイアメントガイドを、国内金融機関では初めて発行します。

併せて、リタイア後におけるセカンドライフやシニアライフに関する基礎研究・調査を行う機関として、2026年4月に三菱UFJ信託銀行に「MUFG シニアライフ研究所」を新設します。

1. 目的

日本社会の長寿化が進み、社会や価値観は大きく変化し、リタイアメントの在り方も見直されています。今後、日本社会に占めるリタイア世代の人口割合は増えていくなかで、リタイア世代の活力が日本社会全体の活力を左右するといつても過言ではありません。

日本ではこれまでリタイアメントを「社会的立場の引退」や「老後・余生」といった「人生の活躍が終わった時間」と捉える傾向にありましたが、これを「新たな挑戦が始まるスタート」と前向きに捉え、一人ひとりがこれまで培ってきた知識や経験を踏まえ「自分自身の新しい価値」を自由に切り開き、「個としての豊かさ」をめざしていく社会の実現に向けて支援していくものです。

これらの取り組みを通じ、社会課題の解決や金融サービスブランド「エムット」がめざす「お客様の豊かな人生の実現を生涯にわたってサポート」する世界観を推し進めます。

「社会的立場の引退」から「個としての豊かさ」へ

Before

リタイアメントは、長く続いた社会的な役割から離れるひと区切り。一線を退くことは老後・余生といった「社会的立場の引退」とみなされる傾向がありました。



引退という名の区切り

会社人生を終える中、「シニア」「シルバー」と呼ばれることに戸惑いを覚える。社会的な役割を終えた存在であることを意識せられ、自らの立ち位置を模索する。



社会との接点の希薄化

長年担ってきた責任や社会貢献の場から少しずつ距離が生まれ、気づけば社会とのつながりが希薄になっていく。その距離感が、自身の存在意義への不安として現れる。



変化していく人の関係性

所属する組織や肩書きがなくなることで、関係性が改めて「個」に戻る。所属や立場を超えた新しい関係が芽生える一方、新たなコミュニティで戸惑いや孤独感を覚えることもある。

After

リタイアメントは、自らの人生を再デザインする時期。社会に貢献する形も、自分らしい幸せを追求する形も、すべては自分自身で選び取ることができます。



新しい章の始まりを感じる

リタイアは引退というだけでなく、新たな「始まり」。さらなる成長や新たな挑戦の機会へと心を開き、自分の時間を自由に使う期待と希望が広がる。



“個”として社会とつながる

組織を離れても、社会とのかかわりは続く。自分ならではの経験や知恵を活かし、地域社会や次の世代に貢献できる場所は見出せる。



つながりの再構築

家族や友人との関係を見つめ直しながら、趣味や関心ごとを通じて、多様なつながりを育む。居心地の良い居場所が、人生の豊かさとなっていく。

2. 取組概要

①「MUFG Retirement Guide」の発行

リタイアメントガイドとは、セカンドライフに起こり得るイベントの全体像を可視化し、各フェーズでの検討・対応すべき事項を体系的にまとめたものです。既に米国的主要金融機関ではリタイア前後における資産形成管理などの金融面の知識を中心に整理したツールとして定着しているものの、国内金融機関では初めての試みとなります。

今般、三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行および三菱UFJモルガン・スタンレー証券の知見を結集して、金融面のみにとどまらず、リタイア時やセカンドライフにおける「心情面の変化」や、社会性課題（自己実現や社会とのつながりなど）および身体性課題（健康や認知能力など）にも言及します。読者の共感を促し、一人ひとりが「自身の退職観」や「人生の豊かさとは何か」を考える“きっかけ”を提供します。

長く社会の第一線で活躍してきた方々が、これから的人生をどう歩むか。これまで培ってきた知識や経験を踏まえ、自分らしい「豊かな人生」を主体的に選択する新たなスタートとして捉える観点も訴求した内容としています。

なお、後述の「MUFGシニアライフ研究所」の調査・研究内容や、その他の最新の動向などを踏まえて、「MUFG Retirement Guide」は今後定期的に更新していく予定です。

＜表紙＞



＜「MUFG Retirement Guide」掲載ページへのリンク＞

| | |
|-------------------|---|
| 三菱UFJ銀行 | https://www.bk.mufg.jp/sonaeru/secondlife/retirementguide/index.html |
| 三菱UFJ信託銀行 | https://www.tr.mufg.jp/ippan/lineup/ |
| 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 | https://www.sc.mufg.jp/learn/index.html |

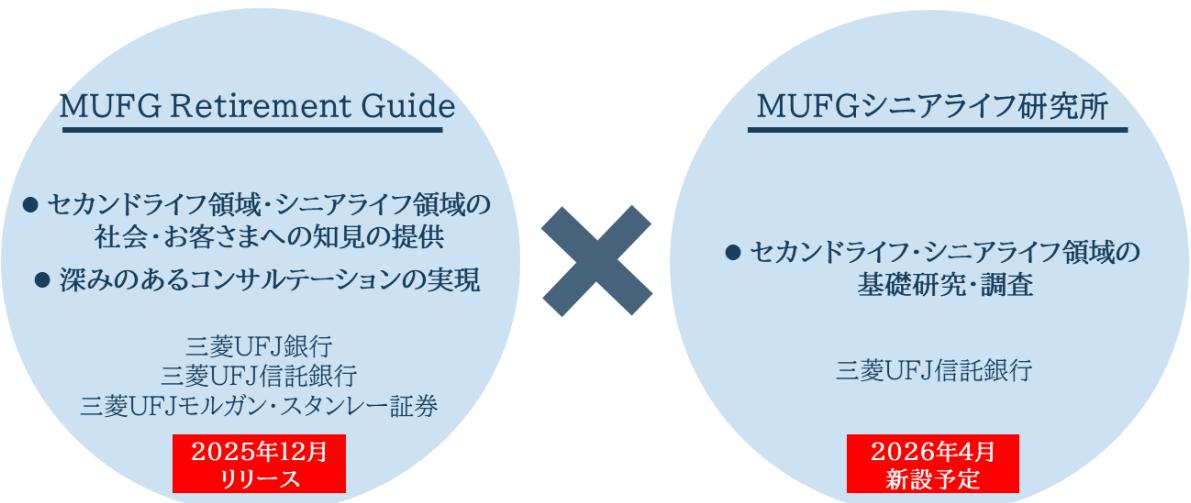
※各業態で掲載している「MUFG Retirement Guide」は、最終頁「Contact and Services」の記載以外は、同じ内容です。

②「MUFG シニアライフ研究所」の新設（仮称・2026年4月予定）

リタイア後における「人生の豊かさ」を上流から本格的に探求し、MUFG グループにおけるセカンドライフやシニアライフに関する基礎研究・調査を行う機関として、2026年4月に三菱UFJ信託銀行に「MUFG シニアライフ研究所」を新設します。

リタイア後は「新たな挑戦が始まるスタート」とともに、健康、身体の衰え、認知症、資産の管理・承継など、リタイア世代固有の新たな不安や悩みにも向き合うことになります。日本におけるセカンドライフやシニアライフについて多角的な視点で観察・考察し、社会に対して深みのある情報を発信する予定です。

また、最新の調査・研究内容を「MUFG Retirement Guide」に定期的に反映するとともに、「MUFG Retirement Guide」全体の監修も担うなど、「MUFG Retirement Guide」と連動した運営を行ってまいります。



以上